

元気企業
訪問

有限会社
藤枝鉄工

産業機械部品の製造を手掛け 最新鋭設備で仕事呼び込む 新工場を成長の足掛かりに さらなる発展目指す

工場移転で3倍のスペースに

神戸市西区にある神戸ハイテクパークの一角に、同社の工場があります。2017年にここへ移ってくるまでは、昔ながらの町工場が並ぶ長田区で操業していました。国の補助金が入り、最先端の5軸加工マシニングセンターが導入できたのを機に、移転を決意したそうです。「以前の3倍のスペースになり、働く環境も良好になりました」と久保河内憲一社長。金属加工業界全体では昨年未から厳しい状況が続いていますが、その中でも途切れなく受注が入っています。

現社長は2代目。周辺に立地する重工業メーカーから造船やガスタービン、産業機械の部品製造の仕事を受けていました。ただ、バブル崩壊後は受注量が減り、苦しんだ時期もあったそうです。転機は26年前、それまでの汎用工作機械に代わり、3軸加工マシニングセンターを導入したことでした。先代の父親と2人で現場を切り盛りしていた町工場にとっては大きな投資でしたが、将来を見据え大きな賭けに出たのです。仲介業者が同社の成長力を見込んで、分割払いで対応してくれたとのこと。その決断が成果を結び、息を吹き返しました。

積極的な設備投資で成長

以降、積極的に設備投資を行っていくことになりました。「私自身の目新しいものの好きの性格もありますが、同業の叔父からも『新しい設備が仕事を増やす』という言葉聞いていました。新しい機械ほどより精密に、より速く加工できるようになり、操作性も向上します。品質、コスト、納期を求めるメーカーに対応していくために、設備への投資は欠かせません」と話します。

ひょうご産業活性化センターの設備貸与制度を活用したのは12年前、5軸加工マシニングセンターを導入した時のことでした。「それまで活用していた民間のリース業者の枠がいっぱいになり、利用できなくなりました。仲介業者から『それなら活性化センターの設備貸与制度を使ってみたら』とアドバイスをもらったの

がきっかけでした」。

実際に活用してみると、利率面だけでなく、割賦期間が終われば自社設備になることも大きなメリットだと言います。以降は、設備投資のたびに同制度を活用し、マシニングセンターと連動するCAD・CAM、3次元測定装置などを次々に導入しました。

新工場の取得は、同センターの担当者からの情報がきっかけ。移転を決断した背景には「今後の発展を見据え、人を増やしていく必要があったから」とも言います。5年前に先代を亡くしてからほとんど一人で現場を回してきましたが、幸い、この1年で49歳、26歳の職人を新たに採用することができま



5軸加工マシニングセンター

した。「2人とも金属加工については全くの素人。いかに技術を伝えていくかが今の大きなテーマ」と話します。5軸加工マシニングセンターの操作には

経験を要するため、2人が扱いやすいようにと、このほど3軸加工マシニングセンターをやはり設備貸与制度を活用して導入しました。「今後は重量物

加工も内製化し、新しい取引先の開拓にも注力していきたい」と、工場移転を機に新たなステージへの飛躍を目指します。

会社概要
有限会社藤枝鉄工

所在地 神戸市西区室谷2-7-9
代表取締役 久保河内憲一
事業内容 金属加工

TEL 078-995-8078
URL <https://www.fujieda5axis.com/>

支援メニュー講座

設備貸与制度

設備貸与制度の活用で経営基盤を強化

制度概要

設備の増強・更新を図ろうとする中小企業の方に代わって当センターが設備を購入し、中小企業の方に長期（10年以内）かつ固定金利（年率0.70%～1.95%）で割賦販売またはリースするものです。2016年度から10%の保証金が原則不要となりました。

メリット

最大のメリットは、金融機関の借入れ枠や信用保証協会の保証枠とは別枠で利用できることです。また、設備貸与制度のみならず当センターは、曜日ごとに中小企業診断士等の専門家による無料の窓口相談を随時受け付けています。さらに当センターは中小企業支援機関との連携により県内企業を支援する「中小企業支援ネットひょうご」を活用し、経営・技術・情報などさまざまなサポート体制が構築されていますので、制度利用後のフォローアップを含めた手厚いサポートがあるのも特長です。

設備の更新、新規導入、省エネへの取り組みをご検討されている方はぜひ設備貸与制度の利用をご検討ください。

問い合わせは ひょうご産業活性化センター設備投資支援室 TEL 078-977-9086